

# 新規事業採択時評価結果(令和8年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 国道・技術課  
 担当課長名： 西川 昌宏

## 事業の概要

|     |                             |      |        |      |                  |
|-----|-----------------------------|------|--------|------|------------------|
| 事業名 | 一般国道2号<br>福山道路(笠岡西～長和)      | 事業区分 | 一般国道   | 事業主体 | 国土交通省<br>中国地方整備局 |
| 起終点 | 自：岡山県笠岡市茂平<br>至：広島県福山市瀬戸町長和 | 延長   | 13.2km |      |                  |

### 事業概要

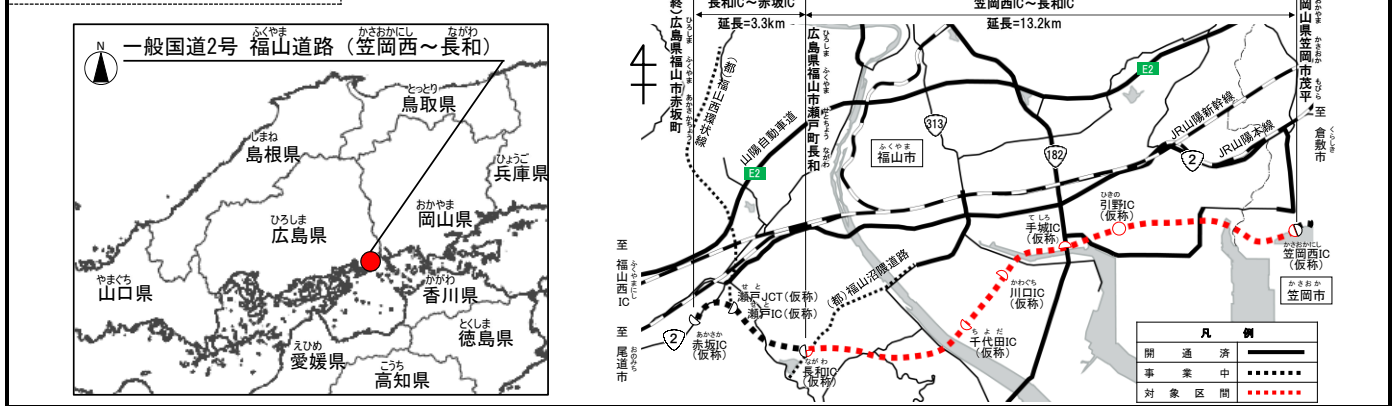
倉敷福山道路は、岡山県倉敷市から広島県福山市に至る延長約55kmの高規格道路である。このうち、福山道路(笠岡西～長和)は、岡山県笠岡市茂平から広島県福山市瀬戸町長和に至る延長13.2kmの自動車専用道路である。

### 事業の目的、必要性

当該区間の整備により、時間信頼性の高い自動車専用道路ネットワークを構築し、道路を階層化することで、国道2号の渋滞を改善するとともに、渋滞に起因して発生する交通事故を削減する。また、速達性の高い道路ネットワークを形成し、物流の効率化や救急医療活動を支援することを目的とする。

|       |          |       |                   |
|-------|----------|-------|-------------------|
| 全体事業費 | 約3,030億円 | 計画交通量 | 約43,900～66,900台/日 |
|-------|----------|-------|-------------------|

### 事業概要図



## 関係する地方公共団体等の意見

### 【岡山県知事】

「一般国道2号福山道路(笠岡西～長和)」における予算化について、同意します。

一般国道2号福山道路は、玉島・笠岡道路及び笠岡バイパス等と一体となり、岡山県西部と広島県東部を連絡する高規格道路倉敷福山道路を構成する重要な路線であり、倉敷福山道路の整備により、物流の効率化や生産性の向上、さらには新たな企業立地など大きな効果が期待されております。

岡山県内では、玉島・笠岡道路及び笠岡バイパスの整備が進められておりますが、倉敷福山道路の整備効果を最大限発揮するためには、全線の早期供用が必要です。

本事業が事業化された際には、用地の先行取得や埋蔵文化財調査の早期実施、地元及び関係機関調整、工事実施に伴う残土受け入れ及び調整といった事業実施環境の整備について、広島県や笠岡市と連携して取り組んでまいります。また、完成後は一般国道2号の現道管理・利活用に向けて適切に対応してまいります。国におかれましても、早期の事業効果の発現に向けて、コスト削減を図りながら、着実に事業を推進していただきますよう、よろしく申し上げます。つきましては、令和8年度新規事業としての予算化に特段の御配慮をお願いします。

### 【広島県知事】

一般国道2号福山道路(笠岡西～長和)を予算化することについて、同意します。

一般国道2号福山道路は、備後圏域の東西方向の著しい交通混雑を緩和し、物流の効率化を図るとともに、広域連携の強化等に資する重要な役割を担う幹線道路です。

全長16.5kmのうち福山市瀬戸町長和以東の13.2kmは事業着手されておらず、朝夕ピーク時を中心に明神町交差点～神島橋西詰交差点などにおいて著しい交通混雑が生じています。現在事業が進められております、玉島・笠岡道路及び笠岡バイパス(笠岡東IC～カブト南IC)の開通により、福山都市圏の一般国道2号の交通需要が更に高まるため、一般国道2号福山道路(笠岡西～長和)の最優先での事業化が必要です。

これまで福山都市圏の広域道路ネットワークの強化につきましては、国土交通省をはじめ、広島県や福山市などの関係機関が役割分担のもとで、一般国道2号福山道路や福山沼隈道路、福山西環状線など関連する周辺道路の整備

を進めているところであり、早期完成に取り組んでおります。

本事業が事業化された際には、一般国道2号福山道路(笠岡西～長和)と一体となって効果を発揮する都市計画道路神辺水呑線などの関連路線の整備を新たに行うとともに、地元調整、用地取得の推進、工事により発生する残土の受け入れ調整などの事業実施環境の整備について岡山県及び福山市と取り組んでまいります。また、完成後は一般国道2号の現道管理・利活用に取り組むこととしています。国におかれましても、早期の事業効果の発現に向けて、コスト削減を図りながら、着実に事業を推進していただきますよう、よろしくお願いいたします。

つきましては、令和8年度新規事業としての予算化に特段のご配慮をお願いします。

## 学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

## 対応方針(採択理由)

費用便益比が 3.9 であることに加え、都市計画決定が完了するなど、事業実施環境が整っており、事業採択の前提条件が確認できる。また、福山道路の整備により、交通の円滑化、交通安全の確保、地域産業の支援、救急医療活動の支援、信頼性の高いネットワークの確保等、必要性・効果が高く見込まれる。

以上より、本事業は令和8年度新規事業箇所として妥当である。

## 事業評価結果(総合評価)

|  |  |
|--|--|
| 事業採択の前提条件  |  |
| <input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている<br><input checked="" type="checkbox"/> 事業実施環境が整っている |  |

| 費用<br>便益<br>分析<br><br>(参考) | B/C  |              | (参考) | EIRR            | 総費用  | 10,668 億円  | 総便益    | 41,778億円                     | (参考)<br>時間信頼性向上便益: 5,134 億円<br>CO2排出削減便益: 87 億円 | 感度分析 |  | 基準年 |
|----------------------------|------|--------------|------|-----------------|--|--|--------|------------------------------|---|------|--|-----|
|                            | [4%] | 3.9<br>(1.1) | 4.4  | 11.9%<br>(4.5%) | 事業費: 9,745億円<br>維持管理費: 709億円<br>更新費: 214億円 | 走行時間短縮便益: 36,460億円<br>走行経費減少便益: 4,272億円<br>交通事故減少便益: 1,046億円 | 交通量変動  | B/C= 3.2 ~ 4.6 (変動ケース: ±10%) |   | 令和7年 |  |     |
|                            | [2%] | 4.8<br>(1.8) | 5.3  |                 |  |  | 事業費変動  | B/C= 3.8 ~ 4.0 (変動ケース: ±10%) |   |      |  |     |
|                            | [1%] | 5.5<br>(2.3) | 6.2  |                 |  |  | 事業期間変動 | B/C= 3.9 ~ 4.0 (変動ケース: ±20%) |   |      |  |     |

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
 ※B/Cは倉敷市～福山市を対象とした場合の値、( )書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( [ ]内は社会的割引率の値)

| 事業の<br>影響    | 評価項目            |      | 評価  | 根拠   |
|--------------|-----------------|------|---|--|
|              | 自動車や歩行者へ<br>の影響 | 渋滞対策 | ◎   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域移動を受け持つ福山道路と、地域交通を受け持つ国道2号とで道路ネットワークが階層化されることで、国道2号の交通が分散され、旅行速度が向上。</li> </ul> 【対象区間(用之江交差点～赤坂IC)の平均旅行速度】<br>現況:平均約23km/h ⇒ 整備後:平均約63km/h |
| 事故対策         |                 | ◎    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞緩和により交通混雑に起因する追突事故が減少。</li> </ul> 【国道2号の死傷事故件数】<br>現況:378件/4年 ⇒ 整備後:265件/4年 (約3割削減)   |  |
| 歩行空間         |                 | ○    | 通過交通の転換に伴う現道等の交通量減少により、歩行者・自転車の安全性向上に寄与。  |  |
| 社会全体への<br>影響 | 住民生活            | ◎    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福山市には三次救急医療機関である福山市民病院等の高度な医療体制を整える医療機関が複数立地する。</li> <li>・福山市民病院は第三次医療施設として、笠岡市や井原市等の隣接市からの救急患者を多く受け入れているが、搬送経路となる国道2号では渋滞が頻発し、搬送に影響が発生。</li> <li>・高次医療機関への緊急搬送時の走行性・信頼性が向上。</li> </ul> <貨幣換算困難な効果><br>[笠岡地区消防組合消防本部～福山市民病院の所要時間] 現況:約36分 ⇒ 整備後:約25分 (約11分短縮) |  |
|              | 地域経済            | ◎    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福山市は製造業が盛んであり、福山港では工業品関係の数多くの物流が存在するが、国道2号の渋滞により、企業活動に影響を与えている。</li> <li>・物流における輸送時間の短縮や時間信頼性の向上により、企業活動を支援。</li> </ul> <貨幣換算困難な効果><br>[福山港～赤坂ICの所要時間] 現況:約38分 ⇒ 整備後:約21分 (約17分短縮)  |  |
|              | 災害              | ◎    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福山都市圏では、国道2号や国道182号、国道313号において、洪水及び津波による浸水危険箇所が存在する。</li> <li>・特に国道2号では、7km以上にわたる浸水が想定されており、災害時の移動経路の確保が課題。</li> <li>・災害による道路寸断時における多重性・代替路の確保。</li> </ul> <貨幣換算困難な効果><br>[笠岡西IC～赤坂ICの所要時間] 現況:約172分 ⇒ 整備後:約14分 (約158分短縮)                                     |  |
|              | 環境              | ○    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格道路への機能分化により、低炭素で持続可能な道路の実現を支援。</li> </ul> [CO2排出削減量 63.1千t-CO2/年[CO2排出削減便益:87億円]]  |  |
|              | 地域社会            | ○    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・備後圏域には鞆の浦や、千光寺公園、倉敷美観地区等の多様な観光地が立地しており、圏域内の市町の魅力を活かした広域観光等の推進を計画している一方で、福山市中心部に主要渋滞箇所が密集し、周遊観光を阻害している。</li> <li>・主要観光地間の移動時間が短縮し、周遊観光を促進。</li> </ul> <貨幣換算困難な効果><br>[鞆の浦～笠岡ベイファームの所要時間] 現況:約43分 ⇒ 整備後:約34分 (約9分短縮)  |  |

|  |
|--|
| 事業実施環境   |
| 都市計画決定手続き完了(H13.3)   |
| 広島県知事、福山市長、福山道路期成同盟会、福山商工会議所、中国国道協会、福山道路・神辺線期成同盟会などから早期事業化の要望を受けている。 |

## 事業評価結果(防災機能)

| <b>事業の必要性</b><br>幹線道路の交通混雑緩和や、交通安全の確保、物流の効率化、救急医療活動の支援、信頼性の高い道路ネットワークの確保に寄与するものである。 |  |  |
|---|--|--|
| 評価項目  | 地域の課題  | 関連する計画   |
| 救助活動等   | <ul style="list-style-type: none"> <li>福山都市圏では、国道2号や国道182号、国道313号において、洪水浸水想定区域や津波浸水想定区域を含む脆弱な区間が存在。</li> <li>災害時は道路寸断によって緊急物資の円滑な輸送に支障となる恐れ。</li> <li>災害や事故等による山陽道通行規制時は、国道2号に集中的に迂回交通が流入し、著しい旅行速度の低下が発生。</li> </ul> | ※中国圏広域地方計画(H28.3)<br>・被災時に隣接圏域との交通ネットワーク機能を果たすために、港湾・道路等の一体的な整備・充実、道路斜面や盛土等の防災対策等、信頼性の高い交通機能・空間機能を確保することにより、災害時におけるバックアップ体制の強化を図る。             |
| 住民生活  | <ul style="list-style-type: none"> <li>福山には三次救急医療機関である福山市民病院等の高度な医療体制を整える医療機関が複数立地する。福山市民病院は三次救急医療機関として笠岡市や井原市等の隣接市からの救急患者を多く受け入れているが、搬送経路となる国道2号では渋滞が頻発し、搬送に影響が発生。</li> </ul>                                       | ※中国圏広域地方計画(H28.3)<br>・高次医療施設へのアクセス向上に資する道路の整備を図るとともに、ドクターヘリの導入による救急対応等、広域連携による医療機能の充実を図る。  |
| 地域経済<br>地域社会  | <ul style="list-style-type: none"> <li>福山は鉄鋼業を始めとした製造業が盛んであり、福山港では工業品関係の数多くの物流が存在するが、国道2号の渋滞により、企業活動に影響を与えている。</li> </ul>  | ※中国圏広域地方計画中間報告(R4.2)<br>・ものづくり産業の国際競争力の強化に向けて、世界水準の国際物流機能の確立を目指して、港湾機能の充実と港湾と高規格道路等のアクセス強化、陸海空による円滑な貨物輸送を実現するシームレスで競争力あるサービスの提供等の取組に一層取り組んでいく。 |
| その他   |  |  |

|   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <b>事業の有効性</b><br><ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価はDランクのままであるものの、累積脆弱度の値が改善することによりネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>また、本事業において、洪水浸水等の災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークが形成されるとともに、救急医療活動の支援および物流の効率化に寄与するなど有効性の高い事業と評価する。</li> </ul> |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

| 道路ネットワークの<br>防災機能 | 主な区間       |              | 改善ペア数    | 脆弱度<br>(防災機能ランク) |             | 累積脆弱度<br>の変化量     | 改善度            |                | 評価       |
|-------------------|------------|--------------|----------|------------------|-------------|-------------------|----------------|----------------|----------|
|                   |            |              |          | 整備前              | 整備後         |                   | 通常時            | 災害時            |          |
|                   | 福山<br>市民病院 | 日本鋼管<br>福山病院 | 3<br>(1) | 1.00<br>(D)      | 1.00<br>(D) | ▲10.31<br>(▲6.77) | 0.06<br>(0.11) | 0.00<br>(0.00) | ○<br>(○) |

|                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <b>事業の効率性</b><br>・都市計画決定手続き完了(H13.3) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

※道路ネットワークの防災機能の値は倉敷市～福山市を対象とした場合の値、( )書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。